

委託業務 仕様書

1. 件名：令和6年度 途上国森林ナレッジ活用実証調査
2. 業務実施期間： 委託契約締結日～2025年3月14日（金）
3. 業務委託内容： 委託先は、以下の業務を実施してください。
 - 1) 実証調査準備・情報収集
 - (1) 実証調査に係る準備を調整（現地協力者との調整など）。
 - (2) 事業の運営委員会にて調査計画を発表し、有識者より助言等を得ます。
 - (3) 渡航予定表を作成し、JIFPROの担当と現地調査の合流予定を調整します。
 - (4) 以下の情報を収集・整理し、調査計画の精査・報告書作成等に活用します。
 - ① 「課題」(A) とその背景に係る情報
 - 実証対象の森林資源のバリューチェーンに係る情報等（利用・保全の現状・傾向、ステークホルダー、コスト、ニーズ、海外の消費・利用、法制度、政策、批准条約、等）
 - その他、課題の解決・改善に役立つと思われる情報等
 - ② 日本にある「ナレッジ」(B)に係る情報
収集情報は、事業の Web ページ* 向けに整理してまとめ、提出します。
* 「森を守る日本のちえぶくろ(ChiePro)」： jifpro.or.jp/chiepro/
 - ③ 「目標」(C) 達成に係る要素
 - 目標Cは、課題AにナレッジBを活用して年度で出す成果（課題が対処・改善された状態）です。途上国が森林資源を持続的に活用して住民の生計向上に資する取組につながるものとします。
 - 目標達成までの計画活動のリスク分析等を行い、適宜対処方針を検討します。
 - 2) 実証調査
 - (1) 運営委員会や JIFPRO の助言も踏まえ、計画を精査しながら実施します。
 - (2) JIFPRO が現地調査に同行できるよう、担当と適宜連携・協力をします。

3) 業務の中間報告

- (1) 活動状況、途中成果、問題等を整理して進捗状況を報告し、JIFPRO より助言等を得ます。(様式・項目は JIFPRO から提供します)
- (2) 運営委員会にて途中成果等を発表し、有識者より助言を得ます。

4) 業務報告書の作成

- (1) ナレッジ活用の結果、課題がどのように改善・対処されたか、その他活動成果・調査結果、分析等をまとめて提出します。
※以下の点に留意します。
 - ① 引用文は引用元、図・表の出典元を明記します
 - ② 第三者の著作物等を使用する場合は、事前に相手に「公開予定の報告書に掲載する」旨説明し、利用許諾を取得します
- (2) 提出後、修正等の指示がある際は従います。

5) 運営委員会への報告

運営委員会にて業務成果等を発表します。

6) 公開セミナー発表

JIFPRO 主催のセミナーにて、一般参加者向けに実証調査の発表をします。

7) 行事の共通事項

- 日程調整メールへの回答は迅速にします。
- 資料は JIFPRO に従って用意し、事前調整を要する場合は協力します。

4. 業務の進行管理

委託先は、本業務の具体的内容及び実施方法について、調査の進捗状況や現地事情の変化に応じて柔軟に対応します。調査の進捗状況は、JIFPRO の求めに応じて逐次詳細に報告を行います。調査の実施にあたっては JIFPRO と協議の上、方針・内容を決定し、その指示に従って業務を遂行します。重篤な問題等が発生した際は、速やかに JIFPRO へ連絡します。

5. 成果品等の提出物

以下の電子データを、Eメールで記載の期限までに送付します。なお、JIFPROは成果を無償で活用でき、原則として公開できるものとします。

- 1) 委員会発表資料 (PPT) 6月、10月、2025年2月頃
- 2) Web ページ用ナレッジ個票 (Word) 9月11日 (水)
- 3) 中間報告書 (Word) 10月1日 (火)
- 4) 写真 (jpeg 300dpi<) : 森林資源、ナレッジ、実証、住民等がわかるもの等
12月2日 (月)
- 5) 業務報告書 (Word) と作成物* 2025年1月22日 (水)
*マニュアル、パンフレット、教材、動画、印刷物等。Eメールで送れないものはJIFPROの事務所迄郵送等で送ります。
- 6) セミナー発表資料 (PPT) 2025年2月頃

● 提出物送付先

- Eメール : 「*」を「@」に変え、同報してください。
masamichi*jifpro.or.jp, asako*jifpro.or.jp
- 住所 : 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル5階
(公財) 国際緑化推進センター (ナレッジ事業担当宛て)